

東名病院だより

Vol. 5

第17号

2005.4月発行

東名病院ホームページアドレス・Eメールアドレス
<http://www.med-junseikai.or.jp/tomei/index.html>
e-mail tomei-hosp@med-junseikai.or.jp

東名病院発行／〒480-1153愛知県愛知郡長久手町作田一丁目1110
TEL (0561)62-7511 (代) FAX (0561)62-2773



ポピー
阿蘇くじゅう花公園

本年は春の訪れが遅く、待ち遠しかった桜が一期に満開となりました。

「愛、地球博」がはじまりましたが、予想していたより交通渋滞は発生せず、患者様方に迷惑をおかけせずにすみそうで安心しています。

新年度に向って、新しい、若い人達を病院に迎えて、一層の発展が願われます。病院の理念「親身・親切・信頼」の3Sを心に、新たな努力を職員一同してゆきたいと願っています。お気づきの点がありましたら、何なりとお知らせ願いたいと存じます。

患者様方のご期待にこたえられる内容ある病院になることを願っています。

院長 村瀬允也

花粉症の診断と治療

副院長 原川伊寿

1) 花粉症とは

ある物質に対して、からだが過敏な拒否反応を示すことをアレルギーがある、といい、その原因物質をアレルゲン（抗原）と呼んでいます。その中でもスギやヒノキなどの花粉が原因で起こるアレルギーが花粉症です。

去年の花粉の少量飛散と夏季の猛暑の影響から今年には大量飛散が予想されています（図1）。

症状はアレルギー性鼻炎によるくしゃみ、鼻水、鼻づまりやアレルギー性結膜炎による目のかゆみ、流涙などで、花粉の量（暴露する量）が大きく影響します。

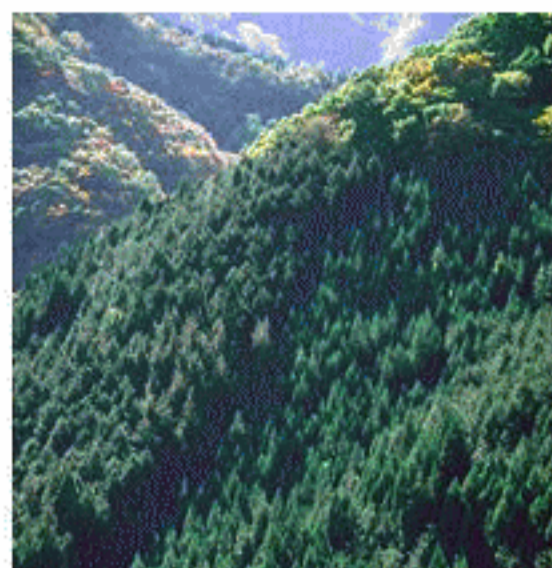


図1 スギ花粉が飛散した瞬間。去年の10月の時点で既に飛散していました。

2) 花粉症の診断

アレルゲンの中で、スギ花粉が最も有名ですが、アレルギー性鼻炎は、スギ花粉以外にも、ブタクサなどの植物の花粉や、ダニ、ハウスダスト（家のほこり）、カビなどでも起こり得ます。また、花粉症でなくても、例えば、クーラーのついている部屋とそうでない部屋を行き来するだけで、くしゃみや鼻水が出てしまうような、気温の変化に追従できない血管運動性鼻炎と呼ばれるものもあります。

個々の人によってアレルゲンは違いますし、複数のアレルゲンがある場合もありますので、自分は何に対して、どのくらいの強さのアレルギーを持っているかを知っておく必要があります。これは血液検査で、一度に多くのアレルギーについて調べることができます（図2）。

3) 花粉症の治療

a) アレルゲンからの回避

まず、アレルゲンと接触しないようにすることが重要です。外出する場合は、マスクや眼鏡をかけ、帰宅したらうがい、洗顔を行行し、家の窓は閉めておいたほうが良いでしょう。コンタクトレンズはメガネに変えたほうがよいとされています。通常のメガネの使用だけでもメガネを使用していない時より、目に入る花粉量は半分以下になります。

b) 薬物療法

飛散日前からの予防治療や軽症の段階での加療がお勧めです。

抗アレルギー剤や抗ヒスタミン剤の内服が第一選択で、これに加えて、点鼻薬や点眼薬を使います。内服薬を連用して効果が薄れる事はありませんが、服用する人との相性があります。例えば、ある患者さまで、A薬がとても良かったとしても、他の患者さまで、このA薬は眠気が強く、効果もそれほどではない、ということがあり得ます。実際の診察の場で御相談してください。

MAST 検査報告書					
コード Y	東名病院		種		
受付日	17.03.10	報告日	17.03.12	採取日	03.10
患者名	様年 性別	材料	外来		
診療科	入院科		【No. 1】		
セット名	MAST-26				
アレルゲン名	ポイント	測定値	単位	クラス	(-) (±) (+) (2+) (3+) (4+) (5+) (6+) (7+) (8+) (9+) (10+)
ダニ 2		1.03	X10 ² LC	1/0	* *
ハウスダスト 2		1.00	X10 ² LC	0	*
ネコ上皮		25.8	X10 ² LC	3	* * * * *
イヌ上皮		0.63	X10 ² LC	0	*
オオアワガエリ		0.71	X10 ² LC	0	*
ハルガヤ		0.11	X10 ² LC	0	*
フタクサ混合物 1		0.45	X10 ² LC	0	*
ヨモギ		0.27	X10 ² LC	0	*
スギ		96.7	X10 ² LC	3	* * * * *
ベニシリウム		0.22	X10 ² LC	0	*
クラトスホロリウム		0.40	X10 ² LC	0	*
カンジダ		0.47	X10 ² LC	0	*
アルテルナリア		0.36	X10 ² LC	0	*
アスペルギルス		0.21	X10 ² LC	0	*
小麦		0.03	X10 ² LC	0	*
大豆		0.36	X10 ² LC	0	*

日付 17.03.12

保険点数 検査責任者

上記の通りご報告致します。
名古屋医師協同組合
名古屋臨床検査センター
名古屋市中区和区滝子通3-2 TEL(052)672-3771 (代表)



スギの着花状況。あらゆる枝にかなりの花芽がついていました。着花本数、花芽数、花芽の大きさと発育状況などを前年と比較し、本年の花粉飛散状況を予測します。

図2 この患者さまはスギとネコ上皮に強いアレルギーがあり、ダニにも弱いアレルギーがみられています。

頸動脈超音波検査について

放射線科技師長 前田優

当院では、心臓超音波検査、腹部超音波検査に加えて頸部超音波検査も行っております。頸部超音波検査の主な適用疾患を以下に示します。

- ①脳血管疾患：脳梗塞、一過性脳虚血発作、頭蓋内動静脈奇形、もやもや病
- ②頸部血管疾患：頸動脈狭窄症、高安動脈炎、鎖骨下動脈盗血症候群
- ③他の動脈硬化性疾患：心筋梗塞、閉塞性動脈硬化症、大動脈解離
- ④高血圧、代謝性疾患：高血圧、糖尿病、高脂血症
- ⑤自覚症状：めまい、ふらつきなどの精査

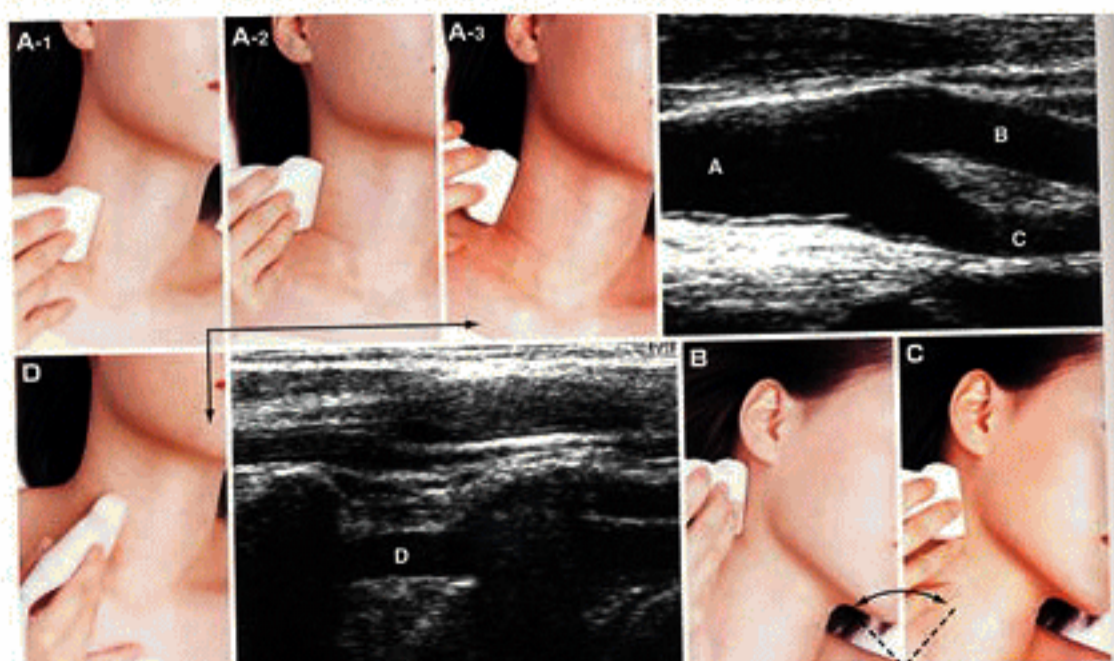
頸動脈超音波検査の目的は、以上ですが、超音波検査が非侵襲的（危険が少なく、体の負担が軽い）で反復して実施可能であるという利点がいかにされています。

1. 頸部血管病変の診断

超音波像の得られる範囲の頸部血管に病変があれば診断可能です。特に脳梗塞や一過性脳虚血発作における塞栓源としての頸部血管病変の診断は重要です。血管内面において、周りの部分より突出したものを隆起病変（プラーク）といいます。

プラークには

- *ソフトプラーク（軟らかいプラークで、大きな粥腫、比較的新しい血腫、新生血管、リンパ球や炎症細胞浸潤などを含む）表面を覆う繊維性皮膜が破綻すれば、柔らかい粥腫や破綻部に形成された血栓が塞栓源となり脳梗塞を発症するリスクの高いプラークです。
 - *ハードプラーク（硬いプラークで、繊維化や古い出血、石灰化などからなる）
- また、鎖骨下動脈盗血症候群や高安動脈炎などの特殊な疾患では、頸部超音波検査が診断に重要な情報を提供します。



左写真：当院でのカラードップラーのサンプル

- A：頸動脈へのアプローチは多方向から観察します。
A-1：前面 A-2：側面
A-3：後面
- B：頸動脈洞から外頸動脈を観察しています。
- C：頸動脈洞から内頸動脈を観察しています。
- D：A-1より外側方向にわずかに傾け椎骨動脈を観察しています。

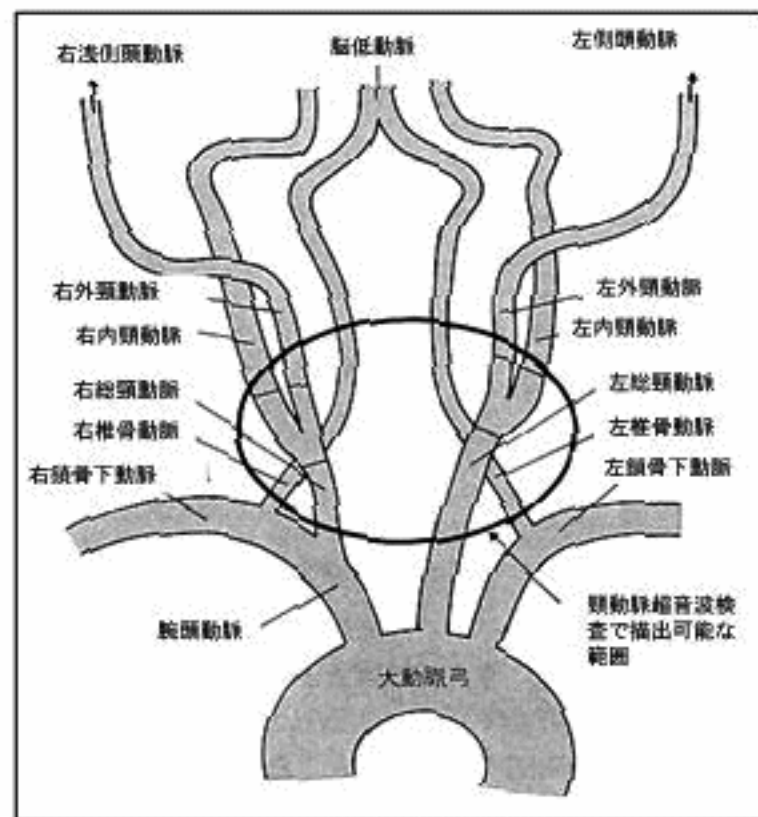
頸部動脈へのアプローチの実際（縦断走査）

2. 頭蓋内病変の推定

頸部の血流速度や血流パターンが頭蓋内の血流状態を反映するため、頸部超音波検査で頭蓋内の大きな血管病変をある程度推定することができます。また、めまいなどの臨床症状を認める場合、頸動脈の血流評価は重要であります。

3. 全身の動脈硬化度の評価

頸動脈がアテローム性動脈硬化の好発部位であることに加え、超音波検査を実施するうえで頸動脈が比較的太い血管であるのかかわらず、表在を走行し評価しやすいので、頸動脈を血管の窓として全身の動脈硬化度の評価が試みられています。すなわち、動脈硬化症の危険因子として評価するわけで、頸動脈の動脈硬化が強いほどその他の部位の血管も動脈硬化が進行していると考えられ、心筋梗塞などの虚血性心疾患や脳梗塞などの脳血管疾患が発生しやすいと考えられます。また、糖尿病や高脂血症などの動脈硬化を起こしやすい代謝性疾患において、長期的な経過観察に有用であります。



頸部の動脈走行
動脈硬化性病変の好発部位

4. 治療効果の評価

頸動脈内剥離術や頭蓋内バイパス術前後の評価に頸動脈超音波検査が有用であり、さらに内科的には動脈硬化を予防する薬剤も開発されており、その効果判定にも利用することができます。